

本資料に記載している値以下の運用をお願いします。記載していない値を超える使用の場合は、安定動作ができなくなる可能性があります。
本文中に記載されている記号はK=1024、M=1024K、G=1024Mを表します。

Table with columns for Model Name (機種名), Performance (パフォーマンス), Interface (インタフェース), Stack Depth (機器冗長(スタック)), MLAG (MLAG), VLAN, Port Function (ポート機能), QoS, Security (セキュリティ), Routing (ルーティング関連), Multicast (マルチキャスト), Tunnel (トンネル), NetMeister, Management (管理機能), Eco (エコ機能), Physical Characteristics (物理仕様), and Guarantee (保証期間). Each column contains detailed specifications for various models (S408FT, S416FT, S424FT, S608GT, S816GT, S824GT, S1108GT-2G, S1116GT-4G, S1124GT-4G, S1148GT-4G).

※1: S&F=ストア&フォワード方式、GT=カットスルー方式
※2: 対応ポートの最大速度でのみ使用可(例: 1000BASE-Tポートで10Mや100Mは不可、10GBASE-Tポートで2.5Gや5Gは不可)
※3: いくつかの速度のポートで使用可の場合(例: 1GbEポートと10GbEポート、10GbEポートと40GbEポートなど)、複数の速度の混在は不可
※4: MLAGはUNIVERGE Network Operation Engine Overlay Network Extensionとの組み合わせのみサポート
※5: PORT=ポートベースVLAN、PROT=プロトコルベースVLAN、IPSub=IPサブネットベースVLAN
※6: 標準実装のRJ45ポート、SFP/SFP+ポートに1000BASE-T-SFP搭載の場合が対象。マネジメントポートは対象外。
※7: B=Broadcast、M=Multicast、U=Unknown unicast
※8: S=STP(IEEE802.1d)、R=RSTP(IEEE802.1w)、M=MSTP(IEEE802.1s)、P=PVST+/Rapid-PVST+
※9: LR=Line Rate、CAR=Committed Access Rate、GTS=Generic Traffic Shaping
※10: 1Y=802.1X認証、MAC=MAC認証、WEB=WEB認証、TRIP=トリプル認証、MS=マルチステップ認証、LOC=ローカル認証
※11: PORT=ダイナミックポートベースVLAN、MAC=ダイナミックMACベースVLAN
※12: C=Client、R=Relay、SV=Server、SH=Snooping
※13: TC=transparent clock、BC=boundary clock
※14: オプションを含まない本体のみの質量
※15: 省エネ法(エネルギーの使用の合理化に関する法律)に基づく表示事項
※16: 省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める測定方法により測定された最大実効伝送速度で除したものを除したもの
※17: 省エネ法で定める測定方法により測定されたフレーム長が1518/1514の時に1秒間の出力フレーム数×1フレームのビット数の総和
※18: 日本工業規格C9901の算出式に基づき、省エネ法で定める標準エネルギー消費効率を省エネ法で定める測定方法により測定したエネルギー消費効率で除したものを、2011年度基準で表示。"- "は対象外製品を示す。

*本資料に記載している値は以下での運用をお願いします。記載している値を超える値を使用した場合、安定動作ができなくなる可能性があります。
*文中に記載されている記号はK=1024、M=1024K、G=1024Mを表します。

Table with columns for model numbers (e.g., S3408FT-20, S3416FT-20) and various technical specifications including switching capacity, ports, VLANs, and power consumption.

※1: ハードウェアでサポートしている最大の転送レートを示す
※2: SFP/SFP+2ポート方式、GT-リポート方式
※3: MACアドレステーブルはARPテーブルとの共有部分あり、MACアドレステーブルは最大232K、最小で16Kまで使用可能、ARPテーブルは最大で16K、最小で7.5Kまで使用可能。
※4: eコンポート
※5: 対応ポートの最大速度でのみ使用可(例: 100BASE-Tポートで10Mや100Mは不可、10GBASE-Tポートで2.5Gや5Gは不可)
※6: いくつかの速度のポートで使用可能な場合(例: 10GbEポートと100GbEポートなど)、複数の速度の存在は不可
※7: 拡張カードを含む。
※8: QSFPポートの4つの10G分割インタフェースは使用不可。
※9: MLAGはUNIVERGE Network Operation Engine Overlay Network Extensionとの組み合わせのみサポート
※10: PORT=ポートベースVLAN、PROT=プロトコルベースVLAN、IPSub=IPサブネットベースVLAN
※11: 標準実装のR445ポート、SFP/SFP+ポートに100BASE-T-SFP搭載の場合が対象。マネジメントポートは対象外。
※12: B=Broadcast, M=Multicast, U=Unknown unicast
※13: S=STP(IEEE802.1d), R=HSSTP(IEEE802.1w), M=MSTP(IEEE802.1s), P=PVST+/Rapid-PVST+
※14: LR=Line Rate, CAR=Committed Access Rate, GTS=Generic Traffic Shaping
※15: 1X=802.1X認証, MAC=MAC認証, WEB=WEB認証, TR=トリプル認証, MS=マルチステップ認証, LOC=ローカル認証
※16: PORT=ダイナミックポートベースVLAN, MAC=ダイナミックMACベースVLAN
※17: D=Client, R=Relay, SV=Server, SN=Snoothing
※18: T=transparent clock, BC=boundary clock
※19: オプションを含まない本体のみの質量
※20: 起動時は0°C以上であること
※21: 省エネ法(エネルギー)の使用の合理化に関する法律に基づき表示事項
※22: 省エネ法で定める測定方法により測定された消費電力を、省エネ法で定める測定方法により測定された最大有効伝送速度で除した値
※23: スケッチング機能を有しているため、省エネ法(エネルギー)の適用除外の対象ではない
※24: 省エネ法で定める測定方法により測定されたフレーム長が1518/1514の時に占める1秒間の出力フレーム数×1フレームのビット数の総和
※25: 日本工業規格C9901の算出に基づき、省エネ法で定める標準エネルギー消費効率を省エネ法で定める測定方法により測定したエネルギー消費効率で除した値、2011年度基準で表示。"- "は対象外製品を示す

*本資料に記載している値以下での運用をお願いします。記載している値を超えて使用した場合は、安定動作ができなくなる可能性があります。

*文中に記載されている記号はK=1024, M=1024K, G=1024Mを表します。

Table with columns for model names (e.g., S4508GT-4Q-1, S8124GT-4X) and various technical specifications (e.g., Switching Capacity, Forwarding Rate, Port Density, Power Consumption). The table is organized into functional categories like 'ファウーマンス', 'インタフェース', 'ポート機能', etc.

※1: ハードウェアでサポートしている最大の転送レートを示す
※2: S&Fはストア&フォワード方式、CTはカットスルー方式
※3: MACアドレステーブルはARPテーブルとの共有部分あり、MACアドレステーブルは最大で64K、最小で48Kまで使用可能。ARPテーブルは最大で16K、最小で7.5Kまで使用可能。

※4: MACアドレステーブルはARPテーブルとの共有部分あり、MACアドレステーブルは最大で32K、最小で16Kまで使用可能。ARPテーブルは最大で16K、最小で7.5Kまで使用可能。
※5: MACアドレステーブルはARPテーブルとの共有部分あり、MACアドレステーブルは最大で28K、最小で16Kまで使用可能。ARPテーブルは最大で16K、最小で7.5Kまで使用可能。
※6: デフォルトのリリースを示す。hardware-resource switch-mode [ARP | MAC | NORMAL | ROUTING] コマンドを使用することでカッコ内の最大値に変更可能。
※7: o=コンポート
※8: 対応ポートの最大速度でのみ使用可 (例: 100BASE-Tポートで10Mや100Mは不可、10BASE-Tポートで2.5Gや5Gは不可)
※9: 1以内の速度のポートで使用可能の場合 (例: 10GbEポートと10GbEポートなど)、複数の速度の混在は不可
※10: 比較単位を記す。
※11: GSPFポートの4つの分割インタフェースは使用不可。
※12: MLAGはUNIVERGE Network Operation Engine Overlay Network Extensionとの組み合わせのみサポート(S5600Gシリーズを除く)
※13: PORT=ポートベースVLAN, PROT=プロトコルベースVLAN, IPSub=IPサブネットベースVLAN
※14: 半二重固定ポート
※15: 標準実装の汎用ポート、SFP/SFP+ポートに100BASE-T-SFP搭載の場合のみ対象。マネジメントポートは対象外。
※16: B=Broadcast, M=Multicast, U=Unknown unicast
※17: S=S-TP (IEEE802.1d), R=RSTP (IEEE802.1w), M=MSTP (IEEE802.1s), P=PVST+/Rapid-PVST+
※18: LR=Line Rate, CAR=Committed Access Rate, GTS=Generic Traffic Shaping
※19: 1X=802.1X認証, MAC=MAC認証, WEB=WEB認証, TR=トリプル認証, MS=マルチステップ認証, LOC=ローカル認証
※20: PORT=ポートベースVLAN, MAC=ダイナミックMACベースVLAN
※21: G=GREトンネル, 44=IPv4 over IPv4, 46=IPv4 over IPv6, 64=IPv6 over IPv4, 66=IPv6 over IPv6
※22: トンネルはGX-S4508GT-4G-1同士の接続のみサポート
※23: C=Client, R=Relay, SV=Server, SN=Snooping
※24: TC=transparent clock, BC=boundary clock
※25: オプションを含まない本体のみの質量

・Anchor-FITモード時の無線機能・無線セキュリティおよびネットワーク管理機能の製品仕様については無線LANアクセスポイントロー側の製品仕様をご参照ください。

・本資料に記載している値以下での運用をお願いします。記載している値を超えて使用した場合は、安定動作ができなくなる可能性があります。

・文中に記載されている記号はK=1024、M=1024K、G=1024Mを表します。

機種名		W610	W1110	W1120	W1130	W1210	W1230	W1240			
有線インタフェース	10/100/1000BASE-T										
	マルチギガビットイーサネット	100BASE-TX									
		1000BASE-T									
		2.5GBASE-T									
		5GBASE-T									
	10GBASE-T										
	受電ポート	1(IEEE802.3af/at/bt)	1(IEEE802.3af/at/bt)	1(IEEE802.3af/bt)	2(IEEE802.3af/bt)	1(IEEE802.3af/bt)	1(IEEE802.3af/bt)	1(IEEE802.3af/bt)			
	コンソールポート	○	○	○	○	○	○	○			
	Auto Negotiation/速度・全半二重固定	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○			
	Auto MDI/MDIX/MDIX固定(※1)	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-			
ジャンプフレーム(byte)	1600	1600	1600	1600	1600	1600	1600				
ループ検出(マルチポートループ対応)	○	○	○	○	○	○	○				
リンクアグリゲーション/LACP対応	-/-	-/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-				
アクセスポイント動作方式(※2)	FAT	FAT/A-FIT/A-AC	FAT/A-FIT/A-AC	FAT/A-FIT/A-AC	FAT/A-FIT/A-AC	FAT/A-FIT/A-AC	FAT/A-FIT/A-AC				
対応規格	IEEE 802.11a/b/g/n/ac(wave2)/ax	IEEE 802.11a/b/g/n/ac(wave2)/ax	IEEE 802.11a/b/g/n/ac(wave2)/ax	IEEE 802.11a/b/g/n/ac(wave2)/ax	IEEE 802.11a/b/g/n/ac(wave2)/ax/be	IEEE 802.11a/b/g/n/ac(wave2)/ax/be	IEEE 802.11a/b/g/n/ac(wave2)/ax/be				
設置条件	屋内	屋内	屋内	屋内	屋内	屋内	屋内				
アンテナ種別	内蔵アンテナ	内蔵アンテナ	内蔵アンテナ	内蔵アンテナ	内蔵アンテナ	内蔵アンテナ	内蔵アンテナ				
ラジオ同時利用	Dual Band	Dual Band	tri-band	tri-band	Dual Band	tri-band	tri-band				
無線インタフェース	ラジオ1	周波数帯/144ch	5G(W52/W53/W56帯)/○	5G(W52/W53/W56帯)/○	5G(W52/W53帯)/-	5G(W52/W53帯)/-	6G/-	5G(W52/W53/W56帯)/○	6G/-	5G(W52/W53帯)/-	6G/-
		最大速度(理論値)	240Mbps	120Mbps	120Mbps	480Mbps	5.76Gbps	2.88Gbps	11.52Gbps	5.76Gbps	5.76Gbps
		MIMOタイプ	2x2ストリーム	2x2ストリーム	2x2ストリーム	4x4ストリーム	2x2ストリーム	2x2ストリーム	4x4ストリーム	4x4ストリーム	4x4ストリーム
		MU-MIMO同時通信クライアント数	-	2	2	4	2	2	4	4	4
		接続モード	IEEE802.11ax/ac/n/a	IEEE802.11ax/ac/n/a	IEEE802.11ax/ac/n/a	IEEE802.11ax/ac/n/a	IEEE802.11be/ax	IEEE802.11be/ax/ac/n/a	IEEE802.11be/ax	IEEE802.11be/ax/ac/n/a	IEEE802.11be/ax
		最大クライアント接続数(推奨数)	128(50)	512(60)	512(60)	512(60)	512(80)	512(80)	512(80)	512(80)	512(80)
	ラジオ2	周波数帯/144ch	2.4G/-	2.4G/-	5G(W56帯)/○	2.4G(※3)/-	5G(W56帯)/○	5G(W52/W53/W56帯)/○	2.4G/-	5G(W52/W53/W56帯)/○	5G(W52/W53/W56帯)/○
		最大速度(理論値)	573Mbps	300Mbps	120Mbps	573Mbps	120Mbps	2.88Gbps	688Mbps	2.88Gbps	5.76Gbps
		MIMOタイプ	2x2ストリーム	2x2ストリーム	2x2ストリーム	2x2ストリーム	2x2ストリーム	2x2ストリーム	2x2ストリーム	2x2ストリーム	4x4ストリーム
		MU-MIMO同時通信クライアント数	-	2	2	2	2	2	2	2	4
		接続モード	IEEE802.11ax/n/g/b	IEEE802.11ax/n/g/b	IEEE802.11ax/ac/n/a	IEEE802.11ax/n/g/b	IEEE802.11ax/ac/n/a	IEEE802.11be/ax/ac/n/a	IEEE802.11be/ax/n/g/b	IEEE802.11be/ax/ac/n/a	IEEE802.11be/ax/n/g/b
		最大クライアント接続数(推奨数)	128(20)	512(27)	512(60)	512(27)	512(60)	512(80)	512(32)	512(80)	512(80)
	ラジオ3	周波数帯	-	-	2.4G(※3)	2.4G	-	-	2.4G	-	2.4G
		最大速度(理論値)	-	-	400Mbps	573Mbps	-	-	688Mbps	-	1.38Gbps
		MIMOタイプ	-	-	2x2ストリーム	2x2ストリーム	-	-	2x2ストリーム	-	4x4ストリーム
MU-MIMO同時通信クライアント数		-	-	-	2	-	-	2	-	4	
接続モード		-	-	IEEE802.11n/g/b	IEEE802.11ax/n/g/b	-	-	IEEE802.11be/ax/n/g/b	-	IEEE802.11be/ax/n/g/b	
最大クライアント接続数(推奨数)	-	-	256(27)	512(27)	-	-	512(32)	-	512(32)		
モジュール1	接続モード	-	BLE(1/2 Mbps)(※4)	-	-	BLE(1Mbps)(将来サポート予定)	BLE(1Mbps)(将来サポート予定)	BLE(1Mbps)(将来サポート予定)	BLE(1Mbps)(将来サポート予定)	BLE(1/2 Mbps)(※5)	
無線機能 無線セキュリティ	最大SSID数(ラジオあたり)	16(8)	32(16)	-	48(16)	-	32(16)	48(16)	-	48(16)	
	SSIDステルス設定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	MACアドレスフィルタリング(White List/Black List)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	WEP	-/-	-/-	40/104bit	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	-/-	
	WPA/WPA2/WPA3	○/○/○	○/○/○	○/○/○(※6)	○/○/○(※6)	○/○/○(※6)	○/○/○(※6)	○/○/○(※6)	○/○/○(※6)	○/○/○(※6)	
	暗号化方式	Auto/TKIP/AES	Auto/TKIP/AES	Auto/TKIP/AES	Auto/TKIP/AES	Auto/TKIP/AES	Auto/TKIP/AES	Auto/TKIP/AES	Auto/TKIP/AES	Auto/TKIP/AES	
	対応認証方式(※8)	1X(※9)/MAC/WEB/MS/LOC(※9)	1X(※9)/MAC/WEB/MS/LOC(※9)	1X(※9)/MAC/WEB/MS/LOC(※9)	1X(※9)/MAC/WEB/MS/LOC(※9)	1X(※9)/MAC/WEB/MS/LOC(※9)	1X(※9)/MAC/WEB/MS/LOC(※9)	1X(※9)/MAC/WEB/MS/LOC(※9)	1X(※9)/MAC/WEB/MS/LOC(※9)	1X(※9)/MAC/WEB/MS/LOC(※9)	
	ポートセキュリティ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ユーザイソレーション	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	ダイナミックVLAN	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	WIDS/WIPS	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	
	DFS/TPC	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	
	QoS(WMM)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	WLANメッシュ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
	NAT	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
NetMeister	○	○	○(※10)	○(※10)	○(※10)	○(※10)	○(※10)	○(※10)	○(※10)		
ネットワーク 管理機能	IEEE802.1Q VLAN	4094[128]	4094[128]	256[128]	256[128]	256[128]	256[128]	256[128]	256[128]		
	スパンニングツリー	S/R/M	S/R/M	S/R/M	S/R/M	S/R/M	S/R/M	S/R/M	S/R/M		
	パケットフィルタ(ACL)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	IPv6管理	○	○	○	○	○	○	○	○		
	スタティックルーティング	○	○	○	○	○	○	○	○		
	マルチキャスト(IGMP v1/v2/v3スヌーピング)	○	○	○	○	○	○	○	○		
	telnet/ssh/WEBコンソール	○/○/○	○/○/○	○/○/○	○/○/○	○/○/○	○/○/○	○/○/○	○/○/○		
	Rp・ftppクライアント/ftpサーバ	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-		
	LLDP	○	○	○	○	○	○	○	○		
	DHCP(※11)	C/R/SV	C/R/SV	C/R/SV	C/R/SV	C/R/SV	C/R/SV	C/R/SV	C/R/SV		
	NTPクライアント/NTPサーバ	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-	○/-		
	PTP(IEEE1588v2)(※12)	-	-	-	-	-	-	-	-		
	Syslog/ログファイル	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○		
	SNMPv1/v2c/v3	○	○	○	○	○	○	○	○		
	標準MIB、Private MIB	○	○	○	○	○	○	○	○		
RMON	○	○	○	○	○	○	○	○			
ポートミラーリング	-	-	-	-	-	-	-	-			
物理仕様	外形寸法(W×D×H) [mm]	185×185×40.0	185×185×33.0	225×225×40.0	225×225×40.0	205×205×34.5	225×225×45.0	225×225×42.0			
	質量(※13)	0.5kg	0.5kg	1.1kg	1.1kg	0.9kg	1.5kg	1.4kg			
	ACアダプタ	OPT-ACADP-01	OPT-ACADP-01	OPT-ACADP-01	OPT-ACADP-01	OPT-ACADP-01	OPT-ACADP-01	OPT-ACADP-01			
	ACアダプタ電源入力[50/60Hz][定格/最大]	100~240V(90~264V)	100~240V(90~264V)	100~240V(90~264V)	100~240V(90~264V)	100~240V(90~264V)	100~240V(90~264V)	100~240V(90~264V)			
	最大消費電力	ACアダプタ/PoE給電	13W/12W	14W/14W	18W/16W	22W/20W	19W/19W	24W/24W	39W/31W(※14)		
	ファンレス	○	○	○	○	○	○	○			
動作温度/動作湿度(非結露が前提)	-10~50°C(※15)(※16)/10~90%	-10~50°C(※15)(※16)/10~90%	-10~50°C(※15)(※16)/10~90%	-10~50°C(※15)(※16)/10~90%	-10~50°C(※15)(※16)/10~90%	-10~50°C(※15)(※16)/10~90%	-10~50°C(※15)(※16)/10~90%	-10~50°C(※15)(※16)/10~90%			
壁/天井取り付け用ブラケット	標準添付	標準添付	標準添付	標準添付	標準添付	標準添付	標準添付				
USBメモリ	-	-	-	-	USB-2G	-	-	USB-2G			
APスタンド	OPT-AP-STD1	OPT-AP-STD1	OPT-AP-STD1	OPT-AP-STD1	OPT-AP-STD1	OPT-AP-STD1	OPT-AP-STD1				
セキュリティスロット	○	○	○	○	○	○	○				
VCCI ClassA / RoHS指令対応	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○	○/○				
保証期間	リミテッドライフタイム保証	○(※17)	○(※17)	○(※17)	○(※17)	○(※17)	○(※17)				

※1: 標準実装のRJ45ポート、SFP/SFP+ポートに1000BASE-T-SFP搭載の場合が対象。マネジメントポートは対象外。
 ※2: A-FIT=Anchor-FIT、A-AC=Anchor-AC
 ※3: 2.4GHzの802.11axはradio3を使用。このときradio3は使用不可。
 ※4: W2230AC(v7.2.58を含む以降のソフトウェア)の管理下、もしくはW1110 Anchor-AC(v7.2.75を含む以降のソフトウェア)の管理下のAnchor-FITでサポート。(Anchor-AC自身とFATは将来サポート予定)
 ※5: W2230AC(v7.2.75を含む以降のソフトウェア)の管理下のAnchor-FITでサポート。(AnchorとFATは将来サポート予定)
 ※6: WPA3の192bitセキュリティは一部ラジオのみサポート。
 ※7: 6GHz帯はWPA3-Personal、WPA3-Enterprise 192bitセキュリティのみサポート。
 ※8: 1X=802.1X認証(※9)、MAC=MAC認証、WEB=WEB認証、TRI=トリプル認証、MS=マルチステップ認証、LOC=ローカル認証(※9)
 ※9: 802.1X認証におけるローカル認証は、CHAPのみ動作
 ※10: Anchor-FITはAC/Anchor-ACがNetMeister管理対象
 ※11: C=Client、R=Relay、SV=Server、SN=Snooping
 ※12: TC=transparent clock、BC=boundary clock
 ※13: オプションを含まない本体のみの質量
 ※14: 一部機能の制限によりPoE給電時最大消費電力25W(PoE+)での動作をサポート。
 ※15: ACアダプタ使用時は-10~45°C(※16)
 ※16: 起動時は0°C以上であること
 ※17: 本体のみ(ACアダプタはリミテッドライフタイム保証対象外)

*本資料に記載している値以下の運用をお願いします。記載している値を超えて使用した場合は、安定動作ができなくなる可能性があります。
*文中に記載されている記号はK=1024、M=1024K、G=1024Mを表します。

機種名	W2310AC	W2330AC	Anchor-AC(W1110)	Anchor-AC(W1120)	Anchor-AC(W1130)	Anchor-AC(W1210)	Anchor-AC(W1230)	Anchor-AC(W1240)	
パフォーマンス	最大スループット[bps](1500byte/パケット時)	10.0G	19.0G	1.0G	1.0G	1.0G	1.0G	1.0G	
	MACアドレステーブル	7.5K	30K	2K	2K	2K	2K	2K	
有線インタフェース	10/100BASE-TX	-	-	-	-	-	-	-	
	10/100/1000BASE-T	8(※1)	8(※1)	-	1	-	1	-	
	1/10GBASE-T	-	-	-	-	-	-	-	
	マルチギガビットイーサネット	100BASE-TX	-	-	-	1	-	-	-
		1000BASE-T	-	-	-		-	-	-
		2.5GBASE-T	-	-	-		-	1	-
		5GBASE-T	-	-	-		-	-	-
		10GBASE-T	-	-	-		-	-	-
	SFP(1G)/SFP+(10G)スロット	8/-	8/-	-	-/-	-	-/-	-/-	
	QSFP+(40G)/QSFP28(100G)スロット	-	-	-	-/-	-	-/-	-/-	
	拡張カードスロット数	1(※2)	1(※2)	-	-	-	-	-	
	コンソールポート/マネージメントポート	○/○	○/○	-	○/-	-	○/-	○/-	
	Auto Negotiation/速度・全半二重固定	○/○	○/○	-	○/○	-	○/○	○/○	
	Auto MDI-MDIX/MDIX固定(※3)	○/-	○/-	-	○/-	-	○/-	○/-	
	ジャンプフレーム(byte)	4000	4000	-	1600	-	1600	1600	
ループ検出(マルチポートループ対応)	○	○	-	○	-	○	○		
リンクアグリゲーション/LACP対応	○/○	○/○	-/-	-	○/-	-	○/-		
IRFスタック/クラウドクラスタ	-/○	-/○	-	-/-	-	-/-	-/-		
最大構成台数	2	2	-	-	-	-	-		
MAD/ISSU	○(※4)/-	○(※4)/-	-	-/-	-	-/-	-/-		
スタック可能ポート(※5)(※6)	1000BASE-T/SFP/SFP+	1000BASE-T/SFP/SFP+	-	-	-	-	-		
管理可能AP	W1000/W1100シリーズ/W1240	W1000/W1100シリーズ/W1240	-	W1000/W1100シリーズ(※7)	-	W1000/W1100シリーズ/W1210/W1230	W1000/W1100/W1200シリーズ(※8)		
管理AP数(推奨)(※9)	384	1536	-	101(51)(※10)	-	101(51)	101(51)		
管理クライアント数	7680	30720	-	2048	-	2048	2048		
最大SSID数(1ラジオあたり)	6144(16)	24576(16)	-	16(16)	-	16(16)	16(16)		
SSIDステルス設定	○	○	-	○	-	○	○		
MACアドレスフィルタリング(White List/Black List)	○	○	-	○	-	○	○		
WEP	40/104/128bit	40/104/128bit	-	40/104bit	-	-	-		
WPA/WPA2/WPA3	○/○/○	○/○/○	-	○/○/○(※11)	-	○/○/○(※12)	○/○/○(※12)		
暗号化方式	Auto/TKIP/AES	Auto/TKIP/AES	-	Auto/TKIP/AES	-	Auto/TKIP/AES	Auto/TKIP/AES		
対応認証方式(※13)	1X(※14)/MAC/WEB/MS/LOC(※14)	1X(※14)/MAC/WEB/MS/LOC(※14)	-	1X(※14)/MAC/WEB/MS/LOC(※14)	-	1X(※14)/MAC/WEB/MS/LOC(※14)	1X(※14)/MAC/WEB/MS/LOC(※14)		
ポートセキュリティ	-	-	-	-	-	-	-		
ユーザアイソレーション	○	○	-	○	-	○	○		
ダイナミックVLAN	○	○	-	○	-	○	○		
WIDS/WIPS 使用可能AP数(推奨)(※9)(※15)	○/○ 384	○/○ 1536	-	○/○ 101(51)(※16)	-	○/○ 101(51)(※16)	○/○ 101(51)(※16)		
DFS/TPC 使用可能AP数(推奨)(※9)(※17)	○/○ 384	○/○ 1536	-	○/○ 101(51)(※16)	-	○/○ 101(51)(※16)	○/○ 101(51)		
QoS(WMM)	○	○	-	○	-	○	○		
WLANメッシュ	○	○	-	○(※18)	-	○(※18)	○(※18)		
NAT	○	○	-	○	-	○	○		
NetMeister	○	○	-	○	-	○	○		
ネットワーク管理機能	IEEE802.1Q VLAN	4094[1024]	4094[1024]	-	256[128]	-	256[128]		
	スパンニングツリー(※19)	S/R/M/P	S/R/M/P	-	S/R/M	-	S/R/M		
	パケットフィルタ(ACL)	○	○	-	○	-	○		
	IPv6管理	-	-	-	-	-	-		
	スタティックルーティング	○	○	-	○	-	○		
	マルチキャスト(IGMP v1/v2/v3ヌーピング)	○	○	-	○	-	○		
	telnet/ssh/WEBコンソール	○/○/○	○/○/○	-	○/○/○	-	○/○/○		
	ftp・tftpクライアント/ftpサーバ	○/○	○/○	-	○/-	-	○/-		
	LLDP	○	○	-	○	-	○		
	DHCP(※20)	C/R/SV/SN	C/R/SV/SN	-	C/R/SV	-	C/R/SV		
	NTPクライアント/NTPサーバ	○/-	○/-	-	○/-	-	○/-		
	PTP(IEEE1588v2)(※21)	-	-	-	-	-	-		
	Syslog/ログファイル	○/○	○/○	-	○/○	-	○/○		
	SNMPv1/v2c/v3	○	○	-	○	-	○		
	標準MIB、Private MIB	○	○	-	○	-	○		
RMON	○	○	-	○	-	○			
ポートミラーリング	○	○	-	-	-	-			
物理仕様	外形寸法(W×D×H) [mm]	440×436×44.0	440×436×44.0	-	-	-	-		
	質量(※22)	6.6kg	6.6kg	-	-	-	-		
	ACアダプタ	-	-	-	-	-	-		
	AC電源入力[50/60Hz](定格/最大)	100~240V(90~290V)	100~240V(90~290V)	-	-	-	-		
	DC電源入力(定格/最大)	-	-	-	-	-	-		
	最大消費電力	62W(※23)	70W(※23)	-	-	-	-		
	電源冗長	○(1U電源冗長)	○(1U電源冗長)	-	-	-	-		
	ファンレス	-	-	-	-	-	-		
動作温度/動作湿度(非結露が前提)	0~45°C/10~90%	0~45°C/10~90%	-	-	-	-			
固定用マグネット	-	-	-	-	-	-	-		
19インチラック搭載用品	標準添付	標準添付	-	-	-	-			
リアフランジ	標準添付/○	標準添付/○	-	-	-	-			
壁/天井取り付け用ブラケット	-	-	-	-	-	-			
USBメモリ	USB-2G	USB-2G	-	-	-	-			
VCCI ClassA / RoHS指令対応	○/○	○/○	-	-	-	-			
保証期間	○	○	-	-	-	-			

物理仕様およびオプション等については無線LANアクセスポイント側の製品仕様をご参照ください。

※1: 10Mは未サポート
 ※2: 前面拡張カードスロットのみサポート
 ※3: 標準実装のRJ45ポート、SFP/SFP+ポートに1000BASE-T-SFP搭載の場合が対象。マネージメントポートは対象外。
 ※4: LACP MADのみサポート
 ※5: 対応ポートの最大速度でのみ使用可(例: 1000BASE-Tポートで10Mや100Mは不可、10GBASE-Tポートで2.5Gや5Gは不可)
 ※6: いくつかの速度のポートで使用可の場合(例: 1GbEポートと10GbEポート、10GbEポートと40GbEポートなど)、複数の速度の混在は不可
 ※7: 管理対象のW1000シリーズの動作モードはFIT
 ※8: W1210/W1230の管理は将来サポート予定
 ※9: 中央転送モードは推奨値を超える使用不可
 ※10: W1000シリーズを1台でも管理する場合は50台(Anchor-AC自身を含む)と51台
 ※11: WPA3の192bitセキュリティは一部ラジオのみサポート
 ※12: 6GHz帯はWPA3-Personal、WPA3-Enterprise 192bitセキュリティモードのみサポート
 ※13: 1X=802.1X認証(※14)、MAC=MAC認証、WEB=WEB認証、TRIP=トリプル認証、MS=マルチステップ認証、LOC=ローカル認証(※14)
 ※14: 802.1X認証におけるローカル認証は、CHAPのみ動作
 ※15: WIDSとWIPSのいずれかまたは両方を設定したAPを1台としてカウント
 ※16: Anchor-AC自身を含む
 ※17: DFSとTPCのいずれかまたは両方を設定したAPを1台としてカウント
 ※18: Anchor-AC自身でのWLANメッシュ機能は使用不可
 ※19: S=STP(IEEE802.1d)、R=RSTP(IEEE802.1w)、M=MSTP(IEEE802.1s)、P=PVST+/Rapid-PVST+
 ※20: C=Client、R=Relay、SV=Server、SN=Snooping
 ※21: TC=transparent clock、BC=boundary clock
 ※22: オプションを含まない本体のみの質量
 ※23: USB未搭載時の最大消費電力

製品名		QX Management Center Basic	
サポートOS (※1)(※2)(※3)		Windows 10 Pro (64bit版)(※4)	
		Windows 11 Pro	
		Windows Server 2016 Standard	
		Windows Server 2019 Standard	
		Windows Server 2022 Standard	
対応仮想環境 (ゲストOSとして、上記「サポートOS」が必要)		Vmware vSphere ESXi 7.0/8.0 Hyper-V (Microsoft Windows Server 2019/2022をホストOSとする)	
推奨ハードウェアスペック	CPU	4 core CPU (64bit) 以上	6 core CPU (64bit) 以上
	メモリ	16GB以上	24GB以上
	ディスク空き容量	100GB以上	150GB以上
最大ライセンス数(※5)		Plat + Wsm ≤ 200	Plat + Wsm ≤ 350
サポートデバイス (監視と制御)	スイッチ	QX-S1000G シリーズ	
		QX-S1100G シリーズ	
		QX-S3400F シリーズ	
		QX-S4100G シリーズ	
		QX-S4200G シリーズ	
		QX-S4300X シリーズ	
		QX-S4508GT-4G-I	
		QX-S4800X シリーズ	
		QX-S5100G シリーズ	
		QX-S5200G シリーズ	
		QX-S5300G シリーズ	
		QX-S5400 シリーズ	
	アクセスコントローラ	QX-S5500G シリーズ	
		QX-S5600G シリーズ	
		QX-S5824XP-2Q2C	
		QX-S6600 シリーズ	
		QX-S6700X シリーズ	
		QX-S7532HP	
		QX-W2120AC	
		QX-W2230AC	
アクセスポイント	QX-W2310AC		
	QX-W2330AC		
	QX-W610		
	QX-W1000シリーズ		
	QX-W1100シリーズ		
サポートデバイス (簡易監視のみ)	ルータ、スイッチ	QX-W1200シリーズ	
		IXシリーズ	
		WAシリーズ	
		PFシリーズ	
		旧QXシリーズ、QX-S500M シリーズ、QX-S700Gシリーズ	
サポートデバイス (死活監視のみ)	PCやサーバ等	SNMPプロトコルを実装していないがPing応答する機器	
主な機能	システム管理	システム全体の管理	
	デバイス管理	デバイスの追加、設定、VLANの追加、設定、監視(SNMP/Syslogなどの管理)	
	クライアント管理	無線クライアント情報/通信状況などの管理	
	トポロジ管理	管理デバイスのトポロジ表示	
	アラーム管理	デバイスのアラーム/トラップ受信、アラーム表示、アラーム統計、e-mail通知	
	レポート管理	蓄積データベースを用いたレポート作成等	
	構成管理	デバイスのコンフィグ/ソフトウェア適用など	
ヒートマップ	電波強度、チャネル状態の監視など		
ビューアー対応ブラウザ		Microsoft Edge(Ver.89以上) Google Chrome (Ver.84以上)	

※1: NAT/NAPT環境には対応していません。

※2: クラウド環境(AWS等)には対応していません。

※3: IPv6環境には対応していません。

※4: サポート期限が近づいておりますので最新OSの使用を推奨します。

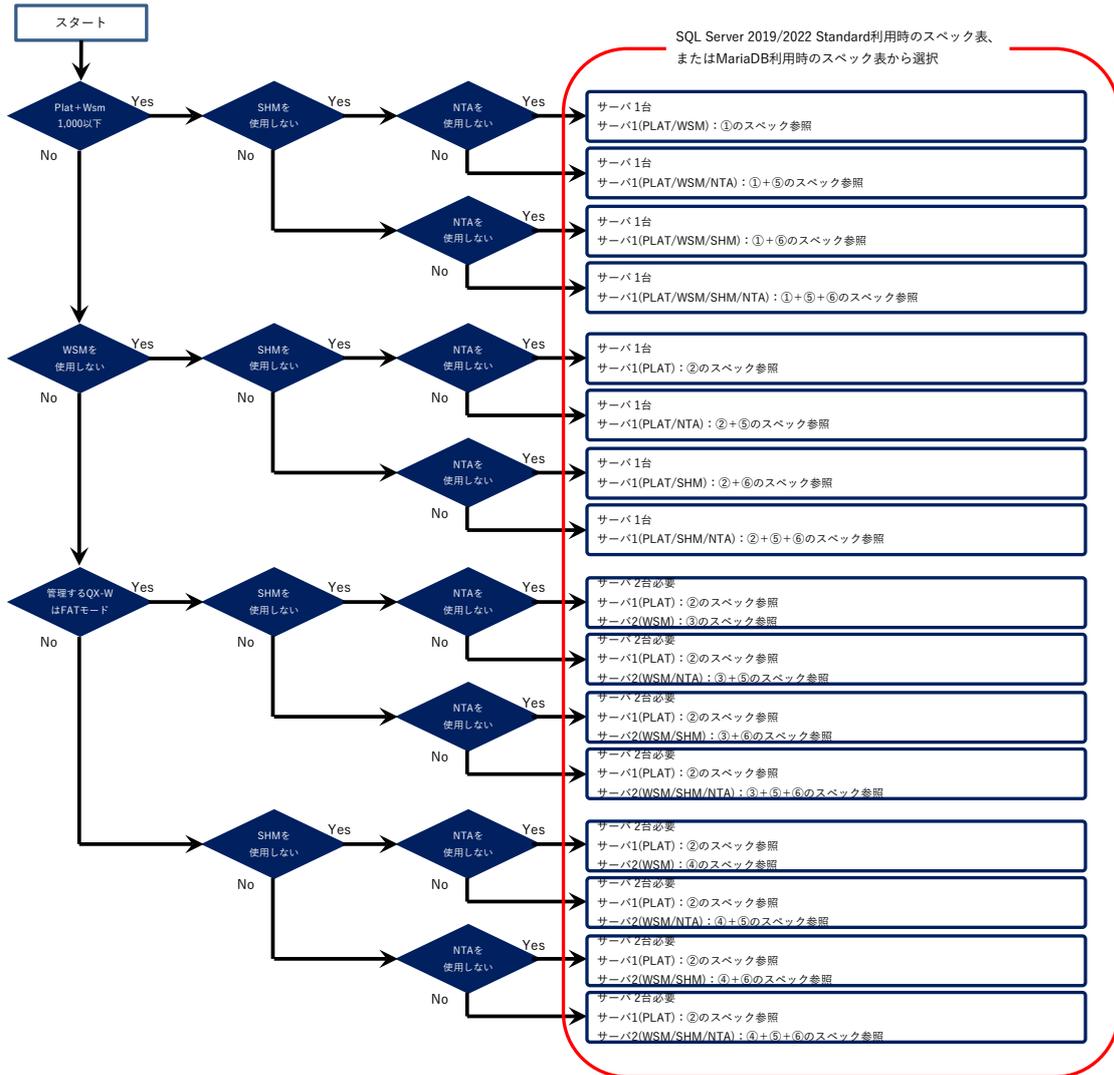
※5: Plat: Platform(有線機能)ライセンス, Wsm: WSM(無線機能)ライセンス

必要なライセンスの種類や数は、QMC Basicで管理する装置(デバイス)により異なります。

- ・QX-Sスイッチングハブ、QX-W無線LANアクセスコントローラ、IXルータ、WAルータ、PFシリーズデバイス、有線Ping応答デバイス: 1台につきPlat を1消費
- ・QX-W無線LANアクセスポイント(FITモード、もしくはAnchor-FITモードで使用の場合): 1台につきWsm を1消費
- ・QX-W無線LANアクセスポイント(FATモード、もしくはAnchor-ACモードで使用の場合): 1台につきPlatを1、Wsmを1消費

製品名		QX Management Center Advance
サポートOS (※1)(※2)(※3)		Windows Server 2019 Standard Windows Server 2022 Standard
対応仮想環境 (ゲストOSとして、上記「サポートOS」が必要)		Vmware vSphere ESXi 7.0/8.0 Hyper-V (Microsoft Windows Server 2019/2022をホストOSとする)
サポートデバイス (監視と制御)	スイッチ	QX-S1000G シリーズ
		QX-S1100G シリーズ
		QX-S3400F シリーズ
		QX-S4100G シリーズ
		QX-S4200G シリーズ
		QX-S4300X シリーズ
		QX-S4508GT-4G-I
		QX-S4800X シリーズ
		QX-S5100G シリーズ
		QX-S5200G シリーズ
		QX-S5300G シリーズ
		QX-S5400 シリーズ
		QX-S5500G シリーズ
		QX-S5600G シリーズ
		QX-S5824XP-2Q2C
		QX-S6600 シリーズ
		QX-S6700X シリーズ
		QX-S7532HP
	アクセスコントローラ	QX-W2120AC
		QX-W2230AC
		QX-W2310AC
QX-W2330AC		
アクセスポイント	QX-W610	
	QX-W1000シリーズ	
	QX-W1100シリーズ	
	QX-W1200シリーズ	
サポートデバイス (簡易監視のみ)	ルータ、スイッチ	NECおよび他社ネットワーク製品の中で、 Ping応答、SNMP(標準MIB、Trap送信)、Syslog、Telnet/SSHに対応した製品
サポートデバイス (死活監視のみ)	PCやサーバ等	SNMPプロトコルを実装していないがPing応答する機器
主な機能	システム管理	システム全体の管理
	デバイス管理	デバイスの追加、設定、VLANの追加、設定、ACLの追加、設定、 監視(SNMP/Syslog)などの管理
	クライアント管理	無線クライアント情報/通信状況などの管理
	トポロジ管理	管理デバイスのトポロジ表示
	アラーム管理	デバイスのアラーム/トラップ受信、アラーム表示、アラーム統計、e-mail通知
	レポート管理	蓄積データベースを用いたレポート作成等
	構成管理	デバイスのコンフィグ/ソフトウェア適用など
	ヒートマップ	電波強度、チャネル状態の監視など
	WIDS/WIPS	不正AP検知、不正APへの攻撃設定
	Network Traffic Analyzer	sFlowを使用したトラフィック分析(※4)
	Service Health Manager (option)	ネットワークの状態・品質の監視
ビューアー対応ブラウザ		Microsoft Edge(Ver.89以上) Google Chrome (Ver.84以上)

※1: NAT/NAPT環境には対応していません。
 ※2: クラウド環境(AWS等)には対応していません。
 ※3: IPv6環境には対応していません。
 ※4: sFlow機能に対応しているQXシリーズ・IXシリーズに対応



- ※ : Plat : Platform(有線機能)ライセンス
- ※ : Wsm : WSM(無線機能)ライセンス
- ※ : 必要なライセンスの種類や数は、QMC Advanceで管理する装置(デバイス)により異なります。
 - ・ QX-Sスイッチングハブ、QX-W無線LANアクセスコントローラ、IXルータ、WAルータ、PFシリーズデバイス、有線Ping応答デバイス : 1台につきPlatを1消費
 - ・ QX-W無線LANアクセスポイント (FITモード、もしくはAnchor-FITモードで使用の場合) : 1台につきWsmを1消費
 - ・ QX-W無線LANアクセスポイント (FITモード、もしくはAnchor-ACモードで使用の場合) : 1台につきPlatを1、Wsmを1消費
- ※ : PLAT : QMC Advance本体(有線機能モジュール)
- ※ : WSM : QMC Advance本体(無線機能モジュール)
- ※ : WIPS : 別売りWIPSオプションモジュール
- ※ : SHM : 別売りSHMオプションモジュール
- ※ : NTA : 別売りNTAオプションモジュール

製品名		QX Management Center Advance	
Spec No.		①	
		①-1	①-2
管理デバイス数	Plat: 有線機能 Wsm: 無線機能	Plat+Wsmのトータルで350ノードまで	Plat+Wsmのトータルで1,000ノードまで
データベース		内蔵データベース	SQL Server 2019/2022 Standard(※1)
推奨ハードウェア スペック	CPU	6 core CPU (64bit) 以上(※2)	8 core CPU (64bit) 以上(※2)
	メモリ	24GB以上	32GB以上
	ディスク空き容量	150GB以上(※3)	255GB以上(※3)

Spec No.		②		
		②-1	②-2	②-3
管理デバイス数		Plat: 1~2,000ノード	Plat: 2,001~5,000ノード	Plat: 5,001~10,000ノード
データベース		SQL Server 2019/2022 Standard(※1)	SQL Server 2019/2022 Standard(※1)	SQL Server 2019/2022 Standard(※1)
推奨ハードウェア スペック	CPU	8 core CPU (64bit) 以上(※2)	16 core CPU (64bit) 以上(※2)	24 core CPU (64bit) 以上(※2)
	メモリ	32GB以上	48GB以上	64GB以上
	ディスク空き容量	255GB以上(※3)	310GB以上(※3)	610GB以上(※3)

Spec No.		③		
		③-1	③-2	③-3
管理デバイス数		Wsm: 1~2,000ノード ※Fat AP: 1~2,000ノードの場合	Wsm: 2,001~3,000ノード ※Fat AP: 2,001~3000ノードの場合	Wsm: 3,001~5,000ノード ※Fat AP: 3,001~5000ノードの場合
データベース		SQL Server 2019/2022 Standard(※1)	SQL Server 2019/2022 Standard(※1)	SQL Server 2019/2022 Standard(※1)
推奨ハードウェア スペック	CPU	6 core CPU (64bit) 以上(※2)	8 core CPU (64bit) 以上(※2)	12 core CPU (64bit) 以上(※2)
	メモリ	16GB以上	24GB以上	32GB以上
	ディスク空き容量	205GB以上(※3)	255GB以上(※3)	310GB以上(※3)

Spec No.		④		
		④-1	④-2	④-3
管理デバイス数		Wsm: 1~3,000ノード ※Fit AP(or Anchor-Fit AP): 1~3,000ノードの場合	Wsm: 3,001~5,000ノード ※Fit AP(or Anchor-Fit AP): 3,001~5,000ノードの場合	Wsm: 5,001~10,000ノード ※Fit AP(or Anchor-Fit AP): 5,001~10,000ノードの場合
データベース		SQL Server 2019/2022 Standard(※1)	SQL Server 2019/2022 Standard(※1)	SQL Server 2019/2022 Standard(※1)
推奨ハードウェア スペック	CPU	6 core CPU (64bit) 以上(※2)	8 core CPU (64bit) 以上(※2)	12 core CPU (64bit) 以上(※2)
	メモリ	16GB以上	24GB以上	32GB以上
	ディスク空き容量	205GB以上(※3)	255GB以上(※3)	310GB以上(※3)

Spec No.		⑤		
		⑤-1	⑤-2	⑤-3
オプション		NTA 管理インタフェース数: 1~100/フロー帯域: 0~100Gbps(※4)	NTA 管理インタフェース数: 101~200/フロー帯域: 101~200Gbps(※4)	NTA 管理インタフェース数: 201~400/フロー帯域: 201~400Gbps(※4)
推奨ハードウェア スペック	CPU	4 core CPU (64bit) 以上(※2)	6 core CPU (64bit) 以上(※2)	8 core CPU (64bit) 以上(※2)
	メモリ	8GB以上	16GB以上	24GB以上
	ディスク空き容量	405GB以上(※3)	605GB以上(※3)	805GB以上(※3)

Spec No.		⑥
オプション		SHM ※NQAインスタンス: 1~1500個の場合
推奨ハードウェア スペック	CPU	2 core CPU (64bit) 以上(※2)
	メモリ	4GB以上
	ディスク空き容量	105GB以上(※3)

※1: SQL Server 2019 Standard/SQL Server 2022 Standardを導入する場合、別途購入が必要です。
 コアライセンス、または、サーバライセンス+クライアントアクセスライセンス(CAL) の購入が必要です。
 コアライセンスは CPU core数に準じたものが、CAL は QMCの管理対象デバイス数分のライセンスが必要です。
 またサーバ2台構成の場合、2台分のライセンス購入が必要です。

※2: CPU frequency>=2.5GHz

※3: SSDを推奨。記載しているディスク空き容量はOSのインストール領域を含みません。

※4: 管理インタフェース数と、フロー帯域の、どちらか大きいほうの値でハードウェアスペックを決めてください。

※5: WIDS/WIPSオプションは追加が必要となるハードウェアスペックはありません。

製品名		QX Management Center Advance	
Spec No.		①	
		①-1	①-2
管理デバイス数	Plat:有線機能 Wsm:無線機能	Plat+Wsmのトータルで700ノードまで	Plat+Wsmのトータルで1,000ノードまで
データベース		MariaDB	MariaDB
推奨ハードウェア スペック	CPU	12 core CPU (64bit) 以上(※1)	16 core CPU (64bit) 以上(※1)
	メモリ	48GB以上	64GB以上
	ディスク空き容量	510GB以上(※2)	510GB以上(※2)

Spec No.		②	
		②-1	②-2
管理デバイス数		Plat:1~2,000ノード(PLATのみ)	Plat:1~2,000ノード(PLATだけでなくWSM/SHM/NTAも利用する場合)
データベース		MariaDB	MariaDB
推奨ハードウェア スペック	CPU	12 core CPU (64bit) 以上(※1)	16 core CPU (64bit) 以上(※1)
	メモリ	48GB以上	56GB以上
	ディスク空き容量	510GB以上(※2)	1,410GB以上(※2)

Spec No.		③	
管理デバイス数		Wsm:1~700ノード ※Fat AP:1~700ノードの場合	
データベース		MariaDB	
推奨ハードウェア スペック	CPU	4 core CPU (64bit) 以上(※1)	
	メモリ	12GB以上	
	ディスク空き容量	50GB以上(※2)	

Spec No.		④	
管理デバイス数		Wsm:1~1,000ノード ※Fit AP(or Anchor-Fit AP):1~1,000ノードの場合	
データベース		MariaDB	
推奨ハードウェア スペック	CPU	4 core CPU (64bit) 以上(※1)	
	メモリ	12GB以上	
	ディスク空き容量	50GB以上(※2)	

Spec No.		⑤	
		⑤-1	⑤-2
オプション		NTA 管理インタフェース数:1~100/フロー帯域:0~100Gbps(※3)	NTA 管理インタフェース数:101~200/フロー帯域:101~200Gbps(※3)
推奨ハードウェア スペック	CPU	2 core CPU (64bit) 以上(※1)	4 core CPU (64bit) 以上(※1)
	メモリ	6GB以上	12GB以上
	ディスク空き容量	50GB以上(※2)	50GB以上(※2)

Spec No.		⑥	
オプション		SHM ※NQAインスタンス:1~200個の場合	
推奨ハードウェア スペック	CPU	2 core CPU (64bit) 以上(※1)	
	メモリ	4GB以上	
	ディスク空き容量	50GB以上(※2)	

- ※1: CPU frequency>=2.5GHz
- ※2: SSDを推奨。記載しているディスク空き容量はOSのインストール領域を含みません。
- ※3: 管理インタフェース数と、フロー帯域の、どちらか大きいほうの値でハードウェアスペックを決めてください。
- ※4: WIDS/WIPSオプションは追加が必要となるハードウェアスペックはありません。